

第31回 国際労働問題シンポジウム 持続可能な開発目標 (SDGs) とディーセント・ワーク

主催：法政大学大原社会問題研究所／ILO 駐日事務所
後援：日本 ILO 協議会／外務省

ILO は来年 2019 年の創立 100 周年に向け、技術革新、グローバリゼーション、気候変動、人口動態、労働力移動など、あらゆる側面で大きく変化する仕事の世界において、ディーセント・ワーク（働きがいのある人間らしい仕事）を実現するために活動しています。国際労働問題シンポジウムは、毎年の ILO 総会の議題からテーマを選んで議論してきました。今年度は第 4 議題「持続可能な開発目標 (SDGs) を支える ILO の開発協力」を取り上げます。

シンポジウムの第 1 部では、ILO の開発協力と SDGs に関する政労使の取組みについてお話をいただきます。第 2 部では、第 1 部の報告を受けて、雇用創出、ジェンダー平等、民主化、平和構築など、「ディーセント・ワークと SDGs」の課題について問題提起をいただきます。皆様どうぞふるってご参加ください。

日時	2018年10月4日（木）	14時～17時15分
会場	法政大学 市ヶ谷キャンパス	ポアソナード・タワー 26階 スカイホール
交通	JR・地下鉄 「市ヶ谷」	または 「飯田橋」 駅 下車 徒歩10分
参加費	無 料	

第1部 (14時～15時5分)

2018年第107回ILO総会第4議題「持続可能な開発目標 (SDGs) を支えるILOの開発協力」について

第107回ILO総会の概要	ILO 駐日事務所
政府の立場から	厚生労働省
労働者の立場から	連合
使用者の立場から	経団連

第2部 (15時25分～17時15分)

学識経験者/専門家による講演およびディスカッション

- ◆吉村真子・法政大学社会学部教授
「アジアにおける開発と労働——グローバル市民社会の視点から」
- ◆中嶋 滋・前ITUCミャンマー事務所長／元ILO理事
「ミャンマーにおける SDGs 実現に向けた取り組みの実態と問題点」
- ◆福林良典・宮崎大学工学部准教授／NPO法人道普請人（みちぶしんびと）理事
「アフリカの若者が主体になるSDGsに向けた取り組み——ケニア・ソマリア・ガンビアでの事例」

（司会：鈴木宗徳・法政大学大原社会問題研究所副所長／社会学部教授）

お申し込み：9月26日（水）までに「国際労働問題シンポジウム」と明記の上、下記のいずれかにお申し込みください。

○法政大学大原社会問題研究所 fax：042-783-2311 e-mail：oharains@adm.hosei.ac.jp 氏名、ご所属、連絡先をお知らせください。

○ILO 駐日事務所 右コードのフォーマットに氏名、ご所属、メールアドレスを送信してください。



法政大学大原社会問題研究所
HP：<https://oisr-org.ws.hosei.ac.jp/>
Twitter：[@oisr1919](https://twitter.com/oisr1919)



ILO 駐日事務所
HP：<http://www.ilo.org/tokyo/>
Twitter：[@ILO_Tokyo](https://twitter.com/ILO_Tokyo)

